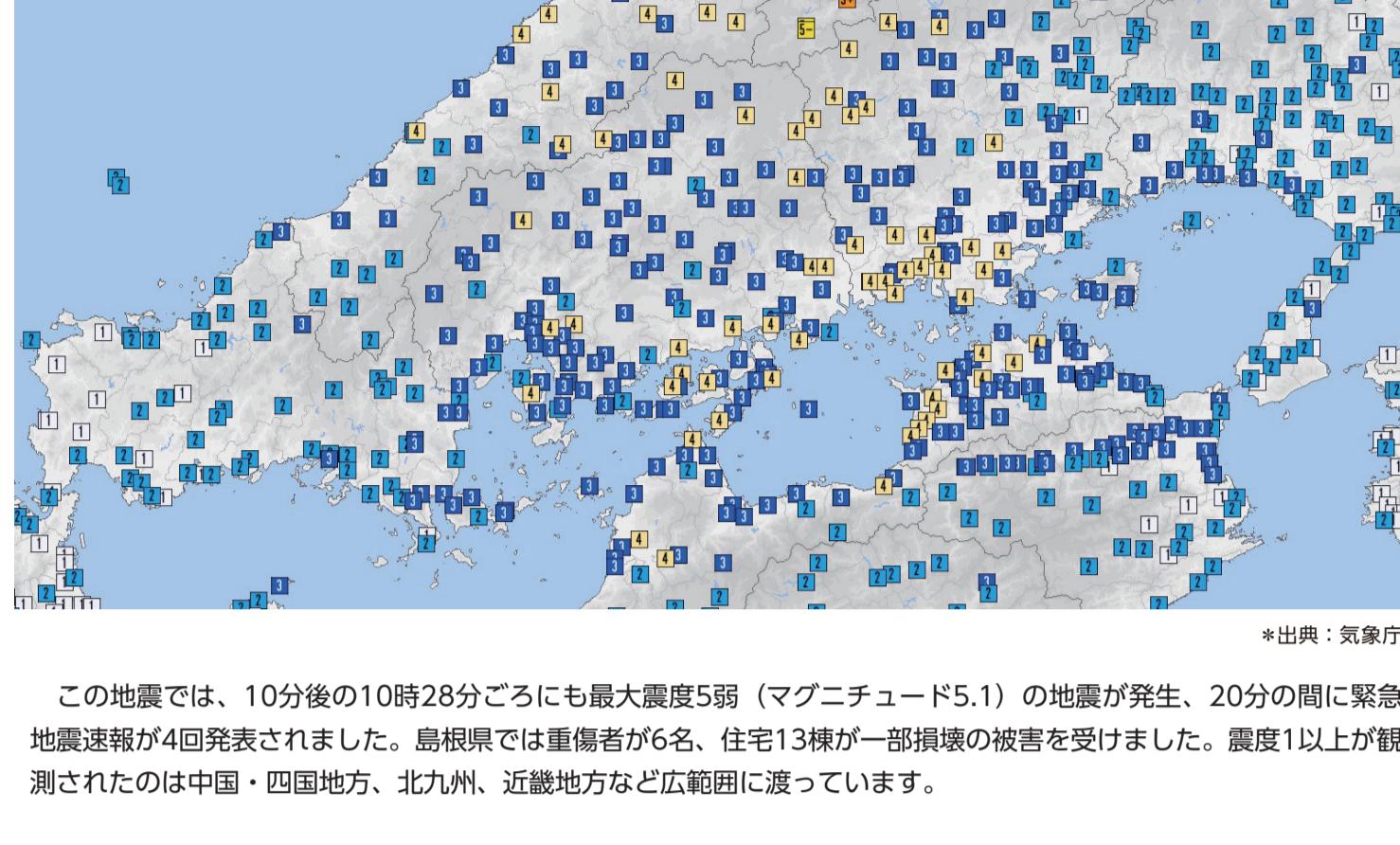


1月6日、島根県と鳥取県で震度5強の地震が発生

年明け早々の1月6日午前10時18分ごろ、島根県東部を震源とするマグニチュード6.2の地震が発生しました。この地震により、島根県と鳥取県で最大震度5強の揺れが観測されました。震度5強が観測されたのは、島根県では2018年4月以来、鳥取県では2016年10月以来です。

■島根県東部地震震度分布（2026年1月6日）

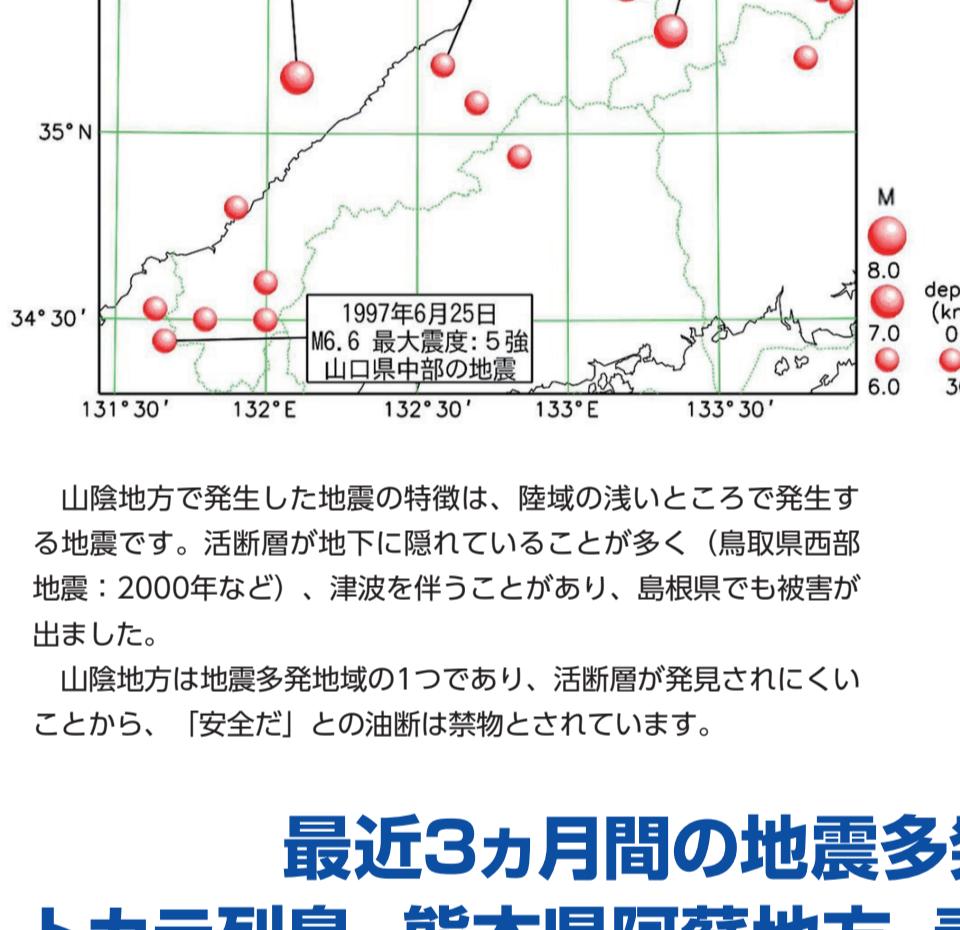


*出典：気象庁

この地震では、10分後の10時28分ごろにも最大震度5弱（マグニチュード5.1）の地震が発生、20分の間に緊急地震速報が4回発表されました。島根県では重傷者が6名、住宅13棟が一部損壊の被害を受けました。震度1以上が観測されたのは中国・四国地方、北九州、近畿地方など広範囲に渡っています。

山陰地方は「隠れ活断層」が多い地震多発地帯

■山陰地方で発生した主な地震



山陰地方で発生した地震の特徴は、陸域の浅いところで発生する地震です。活断層が地下に隠れていることが多い（鳥取県西部地震：2000年など）、津波を伴うことがあります、島根県でも被害が出ました。

山陰地方は地震多発地域の1つであり、活断層が発見されにくくことから、「安全だ」との油断は禁物とされています。

山陰地方での地震は、日本海側で発生するものが多く、過去の主な地震は次のような地震です。

●1872年 浜田地震

（マグニチュード7.1前後）
明治初期、島根県西部で発生し、死者551人、家屋倒壊多数の大きな被害。

●1943年 鳥取地震

（マグニチュード7.2）
鳥取市を中心に火災が広がり、死者1083人（諸説あり）を出す大被害。

●1978年 島根県東部地震

（マグニチュード6.1）
三瓶山付近で崖崩れなどが発生。

●1983年 鳥取県中部地震

（マグニチュード6.3）
日本海中部地震の影響も。

●1997年 山口県中部地震

（マグニチュード6.6）
住家3棟、公共建物被害7棟など。

●2000年 鳥取県西部地震

（マグニチュード7.3）
近年では珍しい直下型地震で、境港市などで震度6強。

●2016年 鳥取中部地震

（マグニチュード6.6）
倉吉市などで震度6弱を観測、負傷者発生。

●2018年 島根県西部地震

（マグニチュード6.1）
負傷者・家屋被害あり。

最近3ヵ月間の地震多発地域はトカラ列島、熊本県阿蘇地方、青森県東方沖など

最近3ヵ月間の震度1以上の地震多発地域は、下表で示すようにトカラ列島近海で83回、熊本県阿蘇地方で58回、青森県東方沖で56回、島根県東部で44回、三陸沖で42回となっています。

トカラ列島近海では、12月30日に奄美大島付近でマグニチュード5.7（最大震度4）の地震が発生しています。また、岩手県沖でも12月31日にマグニチュード6.1（最大震度4）の地震が発生しました。この地域を震源とするマグニチュード6以上の地震は2017年9月以来、8年ぶりですが、青森県東方沖、三陸沖など東日本大震災の関連地域での地震も気になります。

■最近の震源地ごとの地震観測回数 ※期間：2025年10月05日～2026年01月13日

地震観測回数	震源地	地震規模	最大震度	発生年月日
83回	トカラ列島近海	M5.2	3	2025年10月8日
58回	熊本県阿蘇地方	M5.8	5強	2025年11月25日
56回	青森県東方沖	M7.5	6強	2025年12月8日
44回	島根県東部	M6.4	5強	2026年1月6日
42回	三陸沖	M6.9	4	2025年11月9日

*出典：気象庁 地震データベース検索

